

社会健康医学系専攻

I	教育の水準	教育 30-2
II	質の向上度	教育 30-4

I 教育の水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 期待される水準にある

〔判断理由〕

観点1-1「教育実施体制」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 「社会における人間」の健康に関わる問題を探知・評価・分析・解決するために必要な知識、技術、態度を身に付けた人材を輩出するため、必要となる人員の配置や組織の整備を行っており、Public Healthの世界標準である5領域すべてを専任教員でカバーできる体制を設けている。
- 平成24年度に採択された文部科学省大学の世界展開力強化事業「人間の安全保障」開発を目指した日アセアン双方向人材育成プログラムの構築の一環で、平成26年度からマラヤ大学（マレーシア）及びチュラロンコン大学（タイ）とダブルディグリーを実施したほか、一定の要件を満たした者について専門職学位課程から博士後期課程へ在学期間を短縮して進学するなどの取組を行っている。

観点1-2「教育内容・方法」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 世界標準として確立している5領域のコア科目（疫学、医療統計学、環境科学、保健医療管理学、社会及び行動科学（医療倫理学を含む））を開講するなど、グローバル化や社会のニーズに対応した教育を実施している。
- 専門職学位課程では、40科目を超える選択科目を開講し、理論と実務の橋渡しを念頭に置き、多くの科目で少人数での実習やケーススタディ等による実践の機会を提供している。

以上の状況等及び社会健康医学系専攻の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 期待される水準にある

〔判断理由〕

観点2-1「学業の成果」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 平成22年度から平成26年度における標準修業年限内の修了率は、専門職学位

課程は 88.6%、博士後期課程は 11.8%となっている。

- 博士後期課程では、国際的な査読誌への学位論文の投稿・掲載を必須とするなど、学位認定基準を定め、学位の質確保に取り組んでいる。

観点 2-2 「進路・就職の状況」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 平成 26 年度修了生の進路は、専門職学位課程では、就職者の大半は医学・医療に関係する実務家となっており、博士後期課程では、大学や研究機関等へ就職するなど、医学研究者としての道に進んでいることがうかがえる。

以上の状況等及び社会健康医学系専攻の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

Ⅱ 質の向上度

1. 質の向上度

〔判定〕 質を維持している

〔判断理由〕

分析項目Ⅰ「教育活動の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 文部科学省大学の世界展開力強化事業「「人間の安全保障」開発を目指した日アセアン双方向人材育成プログラムの構築」の一環で、マラヤ大学及びチュラロンコン大学とダブルディグリー制度を締結し、平成 26 年度から大学院生の派遣や受入を行っている。

分析項目Ⅱ「教育成果の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 発表論文数は、平成 22 年度の 8 件から平成 27 年度の 16 件となっている。

これらに加え、第 1 期中期目標期間の現況分析における教育水準の結果も勘案し、総合的に判定した。